

貧乏侍屋NEWS

2021. 4. 1

(お子さんが大人になったとき、社会で活躍できるヒントがいっぱい)

「日本の教育界の国宝」の残した言葉とは？



貧しさから逃れるために勉強をする日々

東井先生は 1912 年、兵庫県の山奥にある小さな村の東光寺の長男として生まれます。

元々貧乏な暮らしをしていた東井家ですが、父が親類の借金の保証人になり、家を差し押さえられたことでより生活が厳しくなります。

「何とか早く稼ぐことのできる大人になりたい。ただし、ただの大人になったのではこの貧乏を繰り返すだけだ。勉強しなくてはだめだ」

と、ぼんやり物だったという東井少年は本気で勉強する気になったそうです。

当時は勉強部屋どころか勉強机もなかったので、干しうどんが入っていた木の箱を買ってきて、それを机に黙々と勉強したのでした。

しかし受験が近づいたころ、「進学させてやりたいのはやまやまだけど、今の家計では進学させてやることができない。我慢してくれ」と父が泣きながら伝えます。

話し合った結果、せっかく勉強してきたのだから、学校には入学できなくても試験だけは受けることに。4 人に 1 人しか受からないと言われている難しい試験でしたが、120 人中 30 番。ぎりぎり合格したのですが、約束通り入学することはできませんでした。

その後も色々と苦労を重ね、師範学校（先生を養成する学校）に奨学金で通い、1932 年に同校を卒業後、豊岡尋常高等小学校に着任し、教員生活が始まります。

東井先生は自身が小学 1 年生の時に母をなくし、28 歳で父を亡くすまでの間に家から 6 つの葬式を出したのだそうです。そんな経験から生まれた『**今いのちがあるのは当たり前**』

『**ことではない**』『**自分のいのちを粗末にしていないか**』と問いかけるようないのちの授業が評価され、46歳の頃に広島大学より「ペスタロッチー賞」を受賞したのを皮切りに、兵庫県知事より「教育功労賞」、文部省より「教育功労賞」などを受賞します。

教員退職後も年間300を超える講演会で全国を飛び回る日々を送り、但東町より

「教育特別功労賞」、内閣総理大臣より「勲五等双光旭日賞」を受賞し、『日本の教育界の国宝』と呼ばれることとなったのです。

※東井先生は教員生活が始まってから、亡くなる79歳までで著書及び共著関係約140冊、論文・実践記録等掲載雑誌約900冊、東井義雄関連図書（序文・紹介等）約60冊を残したのだそうです。そしてそれらは兵庫県豊岡市の市役所庁舎内にある「東井義雄記念館」に展示されています。

東井先生が講演会で10代に伝えた言葉とは

自分が自分の主人公 世界でひとつの自分をつくっていく責任者

～人生はほんとうの私にめぐりあうための旅～

『京都大学の名誉教授で東昇先生という方がおられます。この先生は、

「猫は生まれてすぐ人が育てても猫に育つ。犬は生まれてすぐ人が育てても犬に育つ。ところが、人間は人間の子に生まれたからといって、人間に育つとは決まっていない。今日の学会の定説では、約5000通りの可能性を持って生まれてくるとされている」

と仰っています。この話を聞いて、数十年前の狼が赤ん坊をさらって行って、洞窟の中で育てた話を思い出しました。

推定8歳ばかりの子でしたが、真っ暗闇の中でも目がらんと光って、何十メートル先にあるエサが鼻で分かる。エサがあることが分かると四つん這いで飛んで行って手を使わずに貪り食う、夜中の一定の時間になると遠吠えをする・・・

人間に生まれても、狼が狼の暮らしの中で育てると人間の子も狼になる可能性さえ持っているのですね。みなさんが今から狼になろうと思ってももう遅いですがね。しかしみな

さんは今でも獣になら簡単になれます。「なまけもの」という獣にならね。

先日、本屋さんで、20円のお釣りをもらうところを200円もらいました。ちゃんとお釣りをもらいなおしましたが、その時に一瞬、
「儲けたぞ、相手が間違えたのだから言わなあかん。言わなあかんけど素直にもろといてもいいやないか」

とってしまった。5000通りの可能性の中には犯罪者や死刑囚になる可能性だってあるんです。私の中にも、皆さんの中にも泥棒になる可能性がちゃんとあるんです。

みなさんの人生はこれから始まるわけですが、ちょうどみなさんの頃にはいろんな欲望や衝動がこみ上げてくる。そんなみなさんのまわりにはいろんな鯛（タイ）が泳いどる。どんな鯛かといえば、「もうちょっと寝とりタイ」「もうちょっとテレビが見タイ」「もうちょっとマンガが読みタイ」という鯛です。

近頃日本も豊かになって、鯛が異常繁殖し、お父さんお母さんがみんなをかわいがるつもりで一生懸命鯛にエサやりしてくれるので、知らん間に鯛が大きくなって主人公を食べてしまっている。

5000通りの可能性の中で素晴らしい可能性を活かすためにはね、「タイ」に負けんよう、自律の力をどうつけるかということ頑張ってくださいね。

人間には大きい人と、小さい人がいる。体の大きい小さいと違いますよ。人の痛みを自分の痛みのように感じられる人、それが大きい人なんです。逆に自分のことしか考えない人は小さい人です。

自分の思い通りにならないとわざと人を困らせるような人もいる。自分の問題なのに他人事のように投げやりになるようなこと、これを小さいと言う。どうかそういう小さいことが恥ずかしいことだと考えて頂きたいですね。

5000通りの可能性の中から、どんな自分を取り出していくか。皆さん一人一人がその責任者なんです。みなさん人はこんなたくさんいるように思えて、自分は一人しかいない。

世界でただ一人の私を、どんな私に仕上げていくか。

その責任者が私であり、皆さん一人ひとりなんです。』

(東井先生の講演会の内容より一部抜粋し、まとめてあります)

「自分」を育てるのは誰??

あなたは「自分（あなた自身）」を育てるのは誰だと思いますか？親？先生？
答えはどちらでもありません。答えは「自分を育てるのは自分」なのです。

5000通りの可能性から、どんな「自分」を選びますか？

専門家によれば、人間は5000通りの人間になることができるそうです。
そんな中から自分のなりたいたった1人の自分になるためには、親や先生
の力だけではなく、自分自身で理想の自分になるしかありません。

『教育界の国宝』と言われた東井義雄先生は「人生はほんとうの私に
めぐりあうための旅」だと仰いました。

本当のなりたい自分になるためには、怠けたい気持ちに負けない自律の
力をどう身につけるかと、自分のことしか考えない小さな人にならない
ことの二つが大切になります。

世界でただ一人の私を、どんな私に仕上げていくか。その責任者が皆
さん一人ひとりなんです。あなたは自分をどんな自分に仕上げますか？

(保護者のみなさんへ)

東井先生の「いのちの授業」についてはMAC NEWSではほんの一部しか紹介することができませんので、興味のある方は是非「東井義雄」で検索するか、このQRコードを読み取って下さい。
「東井義雄記念館」のHPには東井先生の残した名言集のリンクなどもあります。



いじん めいげん
偉人の名言

「自分が自分の主人公。世界でひとつの自分をつくって

いく責任者。人生はほんとうの私にめぐりあうための旅」

東井 義雄 ～『教育界の国宝』と言われた教育者～

自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。